

白老人物伝1が完成!

郷土読本の第2弾が完成しました。国立博物館開設に向けて白老の歴史や文化への関心や理解を深めてもらうため編さんしました。

内容は、白老の歴史で特に知ってもらいたい人物、三好監物、氏家秀之進、草刈運太郎、野口屋又蔵、満岡伸一・照子夫妻、高橋房次について紹介しています。

サイズは手に取りやすいB5版の小冊子となっており、陣屋資料館や白老コミセン等の各公民館、図書館、白老観光協会やJR白老駅に設置します。平成28年作成のまち歩きマップ『しらおい再発見』ともリンクした内容で、登場人物に関係する名所や石碑の場所が地図ですぐわかるようになっています。写真や年表も多めに掲載していますので、歴史学習の導入書として、白老を紹介するためのテキストとしてご活用下さい。

小さな歴史本を片手に、気軽に白老町の名所巡りも楽しそうですね。郷土愛が深まること請け合いのこの一冊、見かけたら旅のお供に加えて見ませんか。



<今回は表紙がフルカラー!>

仙 台 陣 屋 が わ ら ら 版

第141号

(平成30年5月号)

発行: 仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

大人用のリーフレットが新しくなりました!

陣屋資料館や陣屋跡を紹介するリーフレットを刷新しました。従来のものに比べ、より詳細に陣屋の成り立ちや文化財としての見所を解説した一冊となっています。

表紙に掲載の絵図面は、資料館の中でも一押しの資料。1857年頃の陣屋と港町が描写された「仙台藩白老陣屋之図」です。また、見開きの内面には史跡の空撮写真を紹介。サクラの咲き誇る外曲輪や165歳となる古木赤松、先人が眠る墓地の写真など、史跡の特徴や造営の歴史的背景を解りやすく紹介しています。

リーフレットのデータは白老町のHPからもご覧いただけますので、遠方のお知り合いへもお勧め下さい。リーフレットは興味へのきっかけでもあり、旅の記念にもなります。どうぞご活用下さい。



<新・リーフレットのデザイン。左が表紙で、三つ折りを見開くと史跡の見所等を掲載しています>



今年は陣屋と図書館で 「子どもの日」企画!



毎年恒例の人気行事である「子どもの日」企画。今年は陣屋資料館と町立図書館で連携開催します。

陣屋では今年も「せんべい焼き体験」、「鎧兜の試着体験」、「陣屋跡のクイズラリー」、「抹茶の点出し」、「史跡解説ツアー」といったお馴染みのイベントをご用意しました。一方、図書館では「お話し会スペシャル」、「こいのぼり工作体験」「折り紙兜作り体験」が催されます。

両方のイベントに参加された方にはオリジナル記念品をプレゼントします。5月5日の子どもの日は、是非ご家族でお越し下さい。



開催日……平成30年5月5日(土)

時間……【陣屋資料館】午前10時～午後1時30分

【図書館】午後2時～午後3時

入館料……一般300円(250円)、小中150円(120円)

※入館料はいただきますが、イベントの参加は無料です。

※()内は20名以上の団体料金。町民は入館も無料です。

「ポロトコタンのいきものたち」開催!

町民無料化企画としてパネル展「ポロトコタンのいきものたち」を開催します。アイヌ民族の生活文化のなかでも特に重要で身近な植物である、ハマナス、オオウバユリ、イチイについて、30年3月31日をもって休館したアイヌ民族博物館から提供されたパネルで紹介します。

また、パネル展の間中は植物利用に関するクイズに挑戦していただけます。紹介文の中に登場する動植物のアイヌ語名を答えて行く形式で、説明文をよく読めば誰でも簡単に解ける内容となっています。アイヌ民族が培ってきた知恵に触れると、普段の見慣れた景色が違って来るかもしれません。

見事正解された方には、抽選でアイヌ文様ネックストラップなど、賞品当選のチャンスもあります。初歩的なアイヌ語ばかりですので、お気軽にご参加下さい。

期 間……平成30年5月8日(火)～6月30日(土)

※クイズの期間は5月8日～6月3日(日)です。

展示場所……仙台藩白老元陣屋資料館会議室

開館時間……午前9時30分～午後4時30分

入 館 料……一般300円(250円)、小中150円(120円)

※()内は20名以上の団体料金。町民は無料です。



「仙台陣屋かわら版141号(平成30年5月号)」
発行日平成30年4月24日(火)
発行所 仙台藩白老元陣屋資料館 担当者 平野・結城
<http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/bunka/jirya/> TEL 011-2200000
Mail: jirya@town.shiraoi.hokkaido.jp